

地域おこし協力隊が町を盛り上げます

地域おこし協力隊は、都市地域から山田町に住民票を移し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし支援や農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、地域への定住を図る取り組みです。ここでは、町を盛り上げるために現在奮闘中の協力隊5人を紹介します。

◆問い合わせ 町政策企画課まちづくり推進係（82-333-111）内線363へどうぞ。



農業振興部門 藤田至恩さん

経歴

北上市出身で現在24歳。設備工事業の会社に作業員として勤務していたが、地域おこし協力隊として活動している赤瀬凱さんの影響を受けて自身も協力隊として地域社会に貢献したいと思い応募。

ひとこと

有害鳥獣被害などの農業問題の解決に努め、町民の皆さんが安心して農業を営めるような環境づくりを目指します。また、イベントなどを企画し、多くの人に農業の魅力に触れる機会を提供できるように頑張ります。



観光町づくり部門 遠藤史哉さん

経歴

山田地区出身で現在32歳。総合建設会社の現場監督や観光客向け宿泊施設の支配人、古民家を活用した地域活性化事業など多方面の仕事を経験。山田町を「観光の町」として町外に発信したいと思い応募。

ひとこと

山田の秋祭りをはじめ、山田でしか体験できない魅力を観光客に向けて発信していきながら、キッチンカーを活用した町外へのPR活動をしていきます。何度も山田へ足を運んでみたいと思ってくれるようなキッカケ作りに努めます。



地域活性化部門 赤瀬凱さん

経歴

北上市出身で現在24歳。埼玉県の教育関係の企業に就職していたが、豊かな自然の中で、地域社会に貢献できる仕事がしたいと考えていたところ、祖父の地元である山田町で協力隊の存在を知り応募。

ひとこと

インターネットを活用し、町内の観光スポットや特産品など魅力を発信しています。最近、有害鳥獣駆除のため猟銃免許を取得しました。6次産業の開発を目指し、駆除した有害鳥獣をジビエとして活用できるように取り組んでいきます。



ジオパーク専門員 里嘉千茂さん

経歴

鹿児島県出身で現在68歳。東京学芸大学の教授として地震学などを教えていた経歴を持つ。岩手でジオパークの研究や防災知識の普及啓蒙活動を行いたいと考えていたところ、協力隊の存在を知り応募。

ひとこと

ジオパーク専門員として、山田町の学術的価値や魅力を再発掘して新たなジオサイトの登録を目指します。また、これまで培ってきた防災知識を町内の子どもたちや地域の皆さんに伝えるため、防災の講演会や啓蒙活動を行っています。



ジオパークコーディネーター 福土隆幸さん

経歴

大沢地区出身で現在45歳。大学への進学をきっかけに宮城県へ移住。卒業後、スポーツ系企業などに就職していたが、地元山田町に少しでも貢献できないかと考えていたところ、協力隊の存在を知り応募。

ひとこと

ジオパークコーディネーターとして、町内外の人に自然豊かな山田町を堪能してもらえるようなイベントを開催し、情報発信していきたいです。山田の地域活性化に貢献できるように精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。